

学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

I. 学生の修学に係る支援 教育課程（カリキュラム）

1. 教養教育の取り組み

教養教育として基礎科目に「キャリアプラス」、「基礎数学」、「英語演習Ⅰ・Ⅱ」、「英会話Ⅰ・Ⅱ」、「ICT教育演習Ⅰ・Ⅱ」、「スポーツと健康Ⅰ・Ⅱ」「キャリアチャレンジⅠ・Ⅱ・Ⅲ」などの科目を設定している。

「キャリアプラス」は、平成24年度の後期から開講している新たな取組であり、足立学園総合研究所が地域の方々に向けて開講する科目の一部を、学生が15回受講することにより卒業学年次に単位を与えることとした。これからの女性にとって、自らの職業能力（エンプロイアビリティ）をいかに高めてキャリアアップするかが大きな課題となっているが、各学生が目指す職業人となることに「プラス」される講座を選択し、修得することにより、各自のキャリアを組み立てることをねらいとしている。

「基礎数学」、「英語演習Ⅰ・Ⅱ」、「英会話Ⅰ・Ⅱ」は、卒業後、社会で活躍する女性として最低限身につけておいてほしい基礎的な内容を学ぶものであり、「ICT教育演習Ⅰ・Ⅱ」は情報化社会において必要とされる知識や技術の習得を目指すものである。さらに、「スポーツと健康Ⅰ・Ⅱ」は健康でより良い社会生活を送るための「健康教育」と、「身体づくりの実践」という2つの柱で授業を展開している。

「キャリアチャレンジⅠ・Ⅱ・Ⅲ」は、月曜日の2限目を利用して学科・学年・クラスごとに実施したり、学科や学年を超えて実施したりしている。初年次教育や、キャリア形成など幅広い領域の知識や技術等の習得を目的としている。

2. 専門教育の内容

（1）生活文化学科（食物栄養専攻）

栄養士養成に加えて、栄養教諭、こども食物アレルギー実務課程修了の資格取得が可能である。

（2）生活文化学科（生活文化専攻）

上級情報処理士、上級ビジネス実務士、データサイエンス、AI実務パスポート、こども食物アレルギー実務課程修了の資格取得が可能である。

（3）幼児教育学科第1部・第3部

幼稚園教諭及び保育士養成の科目が中心となる教育課程である。保育士、幼稚園教諭の資格を得るに足りる知識と能力を身に付け、広い視野と人間性を備え、保護者を含めコミュニケーションがとれる保育者の育成を目指したカリキュラムを編成している。

こども音楽療育士とレクリエーションインストラクター、スポーツレクリエーション指導者、地域子育て支援士、こども食物アレルギー実務課程修了の資格も選択取得可能である。

II. 学生の修学に係る支援 学習支援（ガイダンス等）

入学式の翌日、新入生オリエンテーションを実施している。履修案内や学生便覧をもとに、科目の選択方法、資格取得関連、各学科の教育目標・目的、専門科目の内容などや学校生活全般についての説明や指導を行っている。

III. 学生の心身の健康等に係る支援

学生支援部が学生の相談窓口となっている。学生支援係の判断で、健康上の問題やメンタルヘルスなどについては、専門的な相談を受けるよう促している。

加えて、学生の学習や研究活動を支援するために、全専任教員による「オフィスアワー」を設けており、オフィスアワーで学生の質問に応じる体制を整えている。